

2020年度

豊能二次医療圏「地域医療構想」 現状と今後の方向性

大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに
公民のイコールフティングで
病床機能分化の議論を進める

Contents

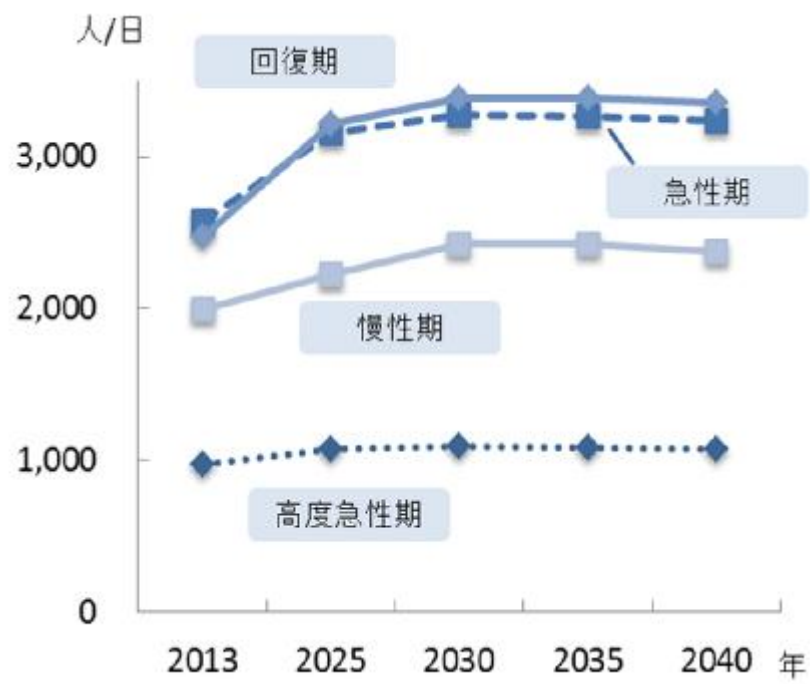
- 1 豊能二次医療圏の概要**
 - (1) 今後の医療需要の見込み
 - (2) 医療体制の概要
 - (3) 診療実態の分析の結果

- 2 将来のあるべき医療体制に向けて**
 - (1) 2025年に各病院が検討している病床機能
 - (2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

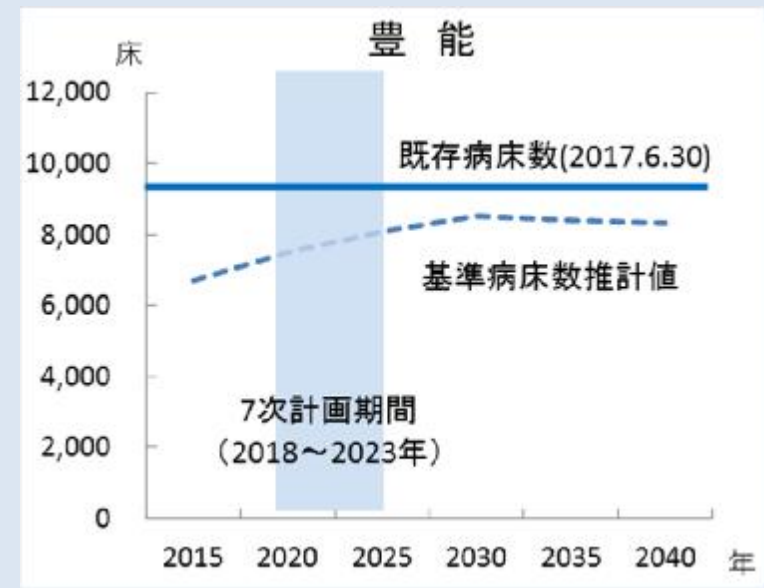
1 豊能二次医療圏の概要 (1) 今後の医療需要の見込み

豊能二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に、急性期と回復期)が増加する見込みである

● 病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)



● 基準病床数の見込み



基準病床数の将来見込みでは、2030年においても、既存病床数に達しない見込み。

	2013年	2025年		2030年		2035年		2040年	
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年
高度急性期	970	1,077	1.11	1,090	1.12	1,081	1.11	1,069	1.10
急性期	2,577	3,154	1.22	3,275	1.27	3,267	1.27	3,234	1.25
回復期	2,473	3,219	1.30	3,382	1.37	3,384	1.37	3,354	1.36
慢性期	1,995	2,227	1.12	2,420	1.21	2,421	1.21	2,378	1.19
合計	8,015	9,677	1.21	10,167	1.27	10,153	1.27	10,035	1.25

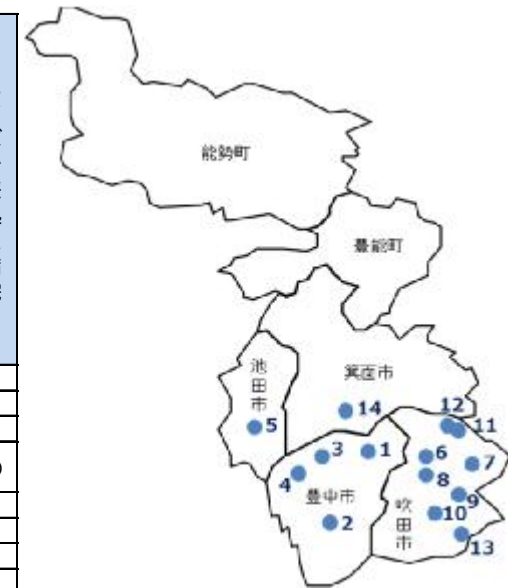
参照：第7次大阪府医療計画 一部改編

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要①

豊能二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が4病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が7病院である

●主な医療施設の状況

所在地	病院名	新 公立 病院 改革 プラン 補 足 調 査 対 象	公 的 医 療 機 関 等 2 0 2 5 プ ラン 対 象 病 院	特 定 機 能 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	社 会 医 療 法 人 開 設 病 院	公 的 医 療 機 関 等	府 立 病 院 機 構	在 宅 療 養 後 方 支 援 病 院	が ん 診 療 拠 点 病 院	三 次 救 急 医 療 機 関	災 害 拠 点 病 院	特 定 診 療 災 害 医 療 セ ン タ ー	周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー	感 染 症 指 定 医 療 機 関	結 核 病 床 を 有 す る 病 院	エ イ ズ 治 療 拠 点 病 院	
豊中市	関西メディカル病院		○		○	○			○									
	社会医療法人北斗会さわ病院					○												
	市立豊中病院	○			○					□				○	○			
	独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター		○				○		○									○
池田市	市立池田病院	○			○				○									
吹田市	大阪市立弘済院附属病院		○				○											
	医療法人沖繩徳洲会吹田徳洲会病院								○									
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院		○		○		○		○	○	○	○						
	国立研究開発法人国立循環器病研究センター		○	○			○							○				
	市立吹田市民病院	○					○			○								
	大阪大学医学部附属病院		○	○			○			□	○	○		□				○
	大阪大学歯学部附属病院						○											
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院		○		○		○		○	○				○				
箕面市	箕面市立病院	○			○		○		○									
合 計		4	7	2	6	2	11	0	6	7	2	2	0	4	1	0	2	



2020年10月末時点
【対象病院数43の内訳】
公立病院：4
公的病院：7
民間等病院：32

※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。
※ 「周産期母子医療センター」の□印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

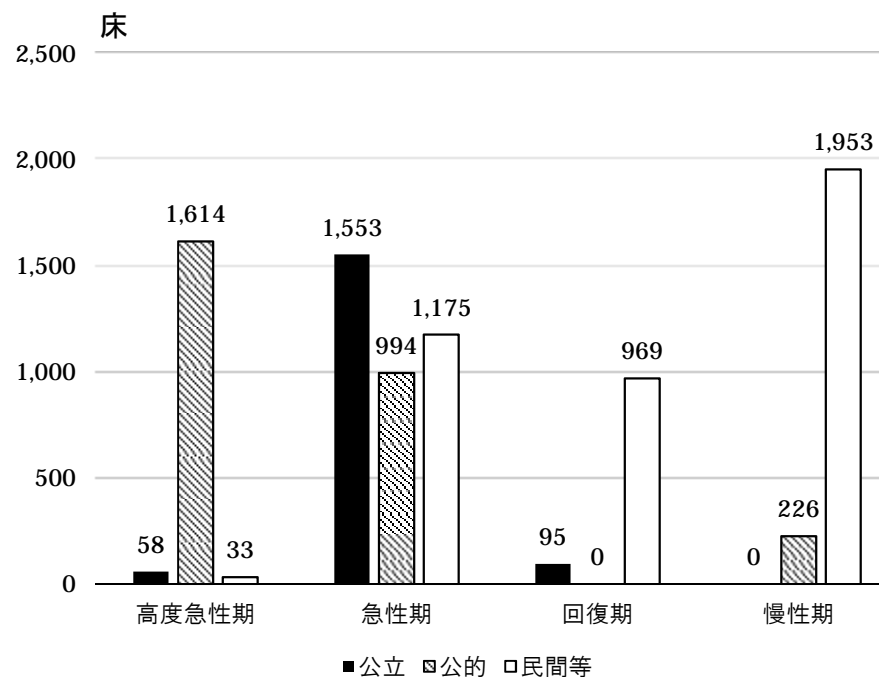
1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要②(病床機能別実態)

高度急性期は公的病院に、回復期と慢性期は民間病院に多く、急性期は公立病院に最も多い

● 病院プラン調査等提出

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	4	4	100%
公的	7	7	100%
民間等	32	30	93.8%
合計	43	41	95.3%

● 病床機能別病床数

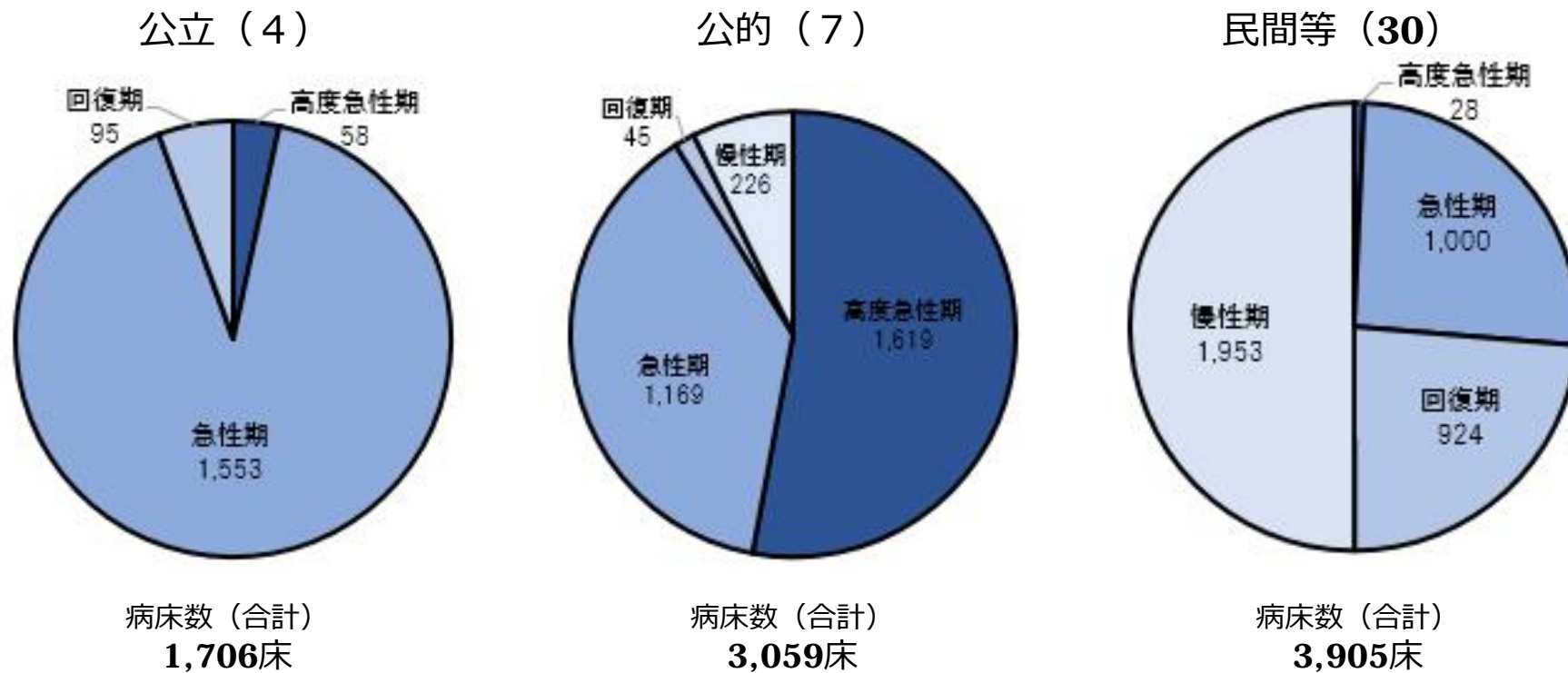


参照：2020年度病院プラン調査等

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要③(公民別病床機能)

公立・公的・民間等、それぞれにおいて有する
病床機能の割合は異なっている

● 公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出41病院(公立4、公的7、民間等30))



参照 2020年度病院プラン調査等

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要④(公民別病床機能)

●【参考】保健所別病床機能別割合

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(池田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	17	614	50	0	681
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	166	416	343	925
計	17	780	466	343	1,606

病床機能別割合【令和2年7月時点】(池田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	2.5%	90.2%	7.3%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
民間等	0.0%	17.9%	45.0%	37.1%	100%
計	1.1%	48.6%	29.0%	21.4%	100%

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(豊中市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	37	557	0	0	594
公的	9	355	45	226	635
民間等	10	313	329	1,023	1,675
計	56	1,225	374	1,249	2,904

病床機能別割合【令和2年7月時点】(豊中市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	6.2%	93.8%	0.0%	0.0%	100%
公的	1.4%	55.9%	7.1%	35.6%	100%
民間等	0.6%	18.7%	19.6%	61.1%	100%
計	1.9%	42.2%	12.9%	43.0%	100%

病床機能別病床数【令和2年7月時点】(吹田市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	4	382	45	0	431
公的	1,610	814	0	0	2,424
民間等	18	521	179	587	1,305
計	1,632	1,717	224	587	4,160

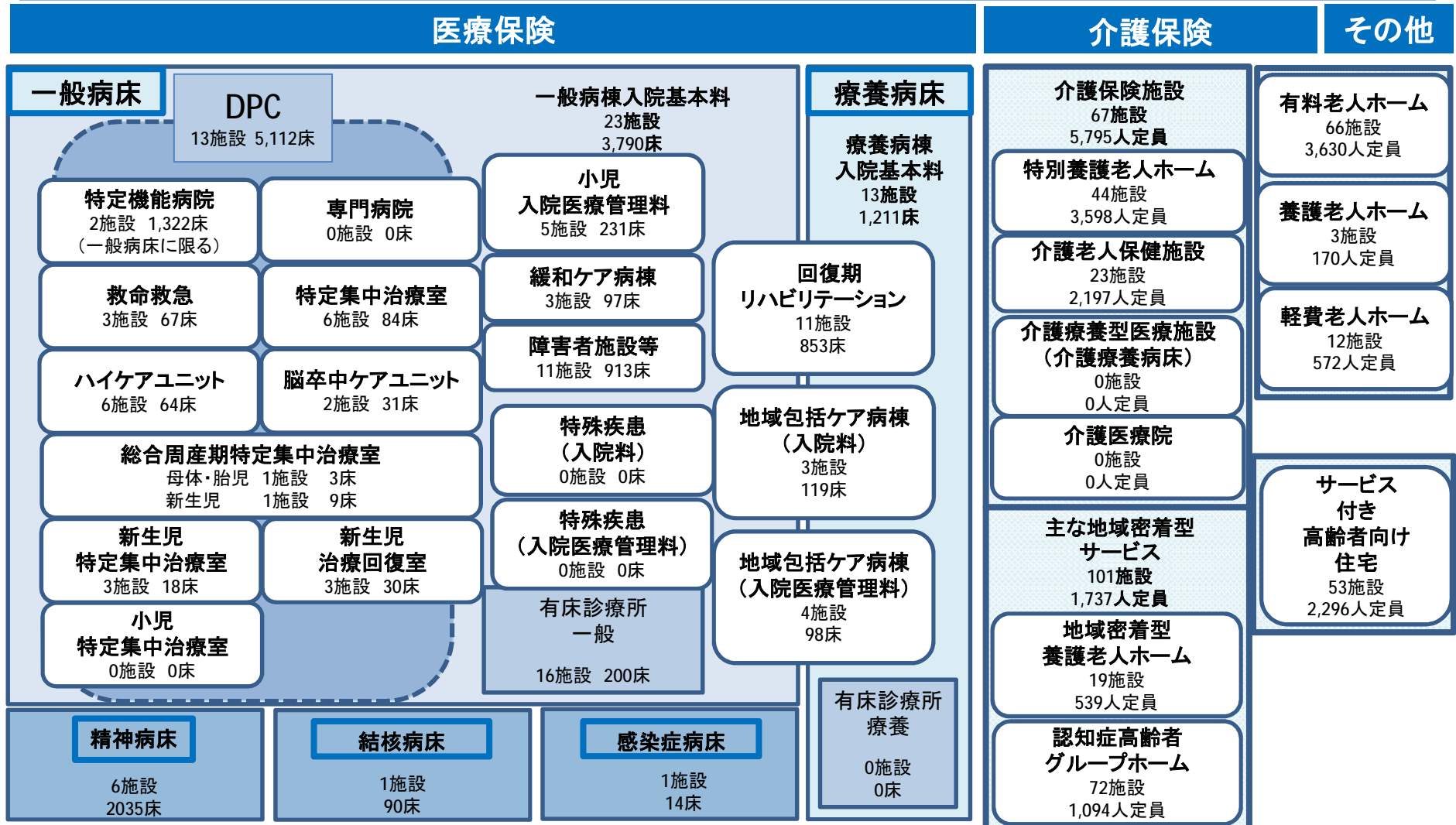
病床機能別割合【令和2年7月時点】(吹田市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.9%	88.6%	10.4%	0.0%	100%
公的	66.4%	33.6%	0.0%	0.0%	100%
民間等	1.4%	39.9%	13.7%	45.0%	100%
計	39.2%	41.3%	5.4%	14.1%	100%

参照：2020年度病院プラン調査等

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要⑤(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されているが、
介護療養型医療施設・介護医療院はない

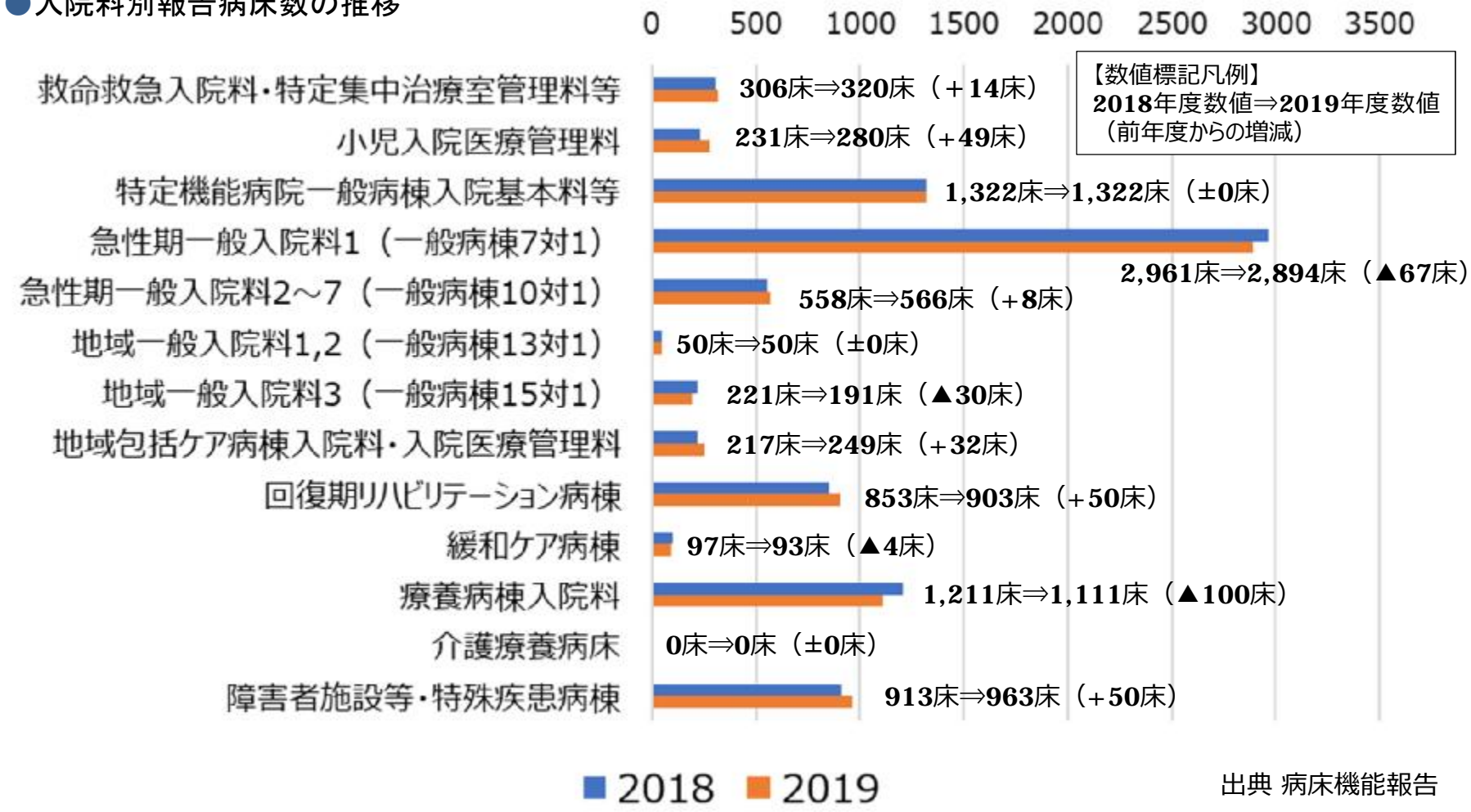


参照 「医療保険」 病床機能報告(2018年7月1日時点の医療機能：2019年2月集計)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2019年3月31日現在))「介護保険・その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームは2018年1月1日現在、その他施設は2019年4月1日現在)

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要⑥ (入院料別の経年変化)

前年度と比し、回復期リハビリテーション、地域包括ケア等が増加し、急性期一般入院料(一般病棟7対1)や療養病棟入院料が減少した

●入院料別報告病床数の推移



出典 病床機能報告

1 豊能二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要⑦(転換補助金)

豊能二次医療圏での「病床転換促進事業補助金」の交付実績はない

病床転換促進事業補助金（実績）

大阪府全体

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	3	3	3	119	119	119
2016年	5	3	0	103	63	0
2017年	7	5	2	303	125	41
2018年	7	6	0	315	285	0
2019年	8	4	1	256	44	6
合計	30	21	6	1096	636	166

1 豊能二次医療圏の概要 (2) 地域医療構想の進捗状況

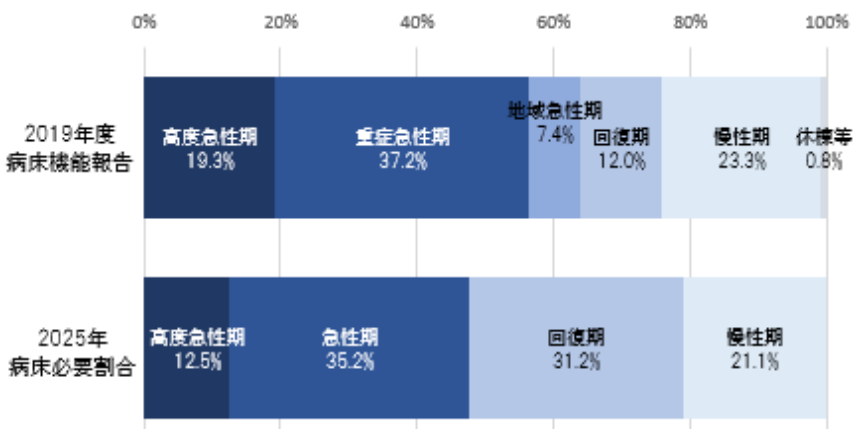
病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、豊能二次医療圏で約12%程度同機能への転換が必要と推計

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
				重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床数の必要量	2013	1,294	3,304				2,748	2,169			9,515
病床機能報告	2014	1,802	3,960				854	1,971	314	339	9,240
病床機能報告	2015	1,772	4,067				811	2,149	148	291	9,238
病床機能報告	2016	1,775	3,990				966	2,057	61	373	9,222
病床機能報告	2017	1,746	4,072	3,117	0	955	1,066	2,175	0	25	9,084
病床機能報告	2018	1,794	4,135	3,321	0	814	1,055	2,121	74	0	9,179
病床機能報告	2019	1,764	4,083	3,402	0	681	1,102	2,129	73	19	9,170
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	1,147	3,231				2,858	1,934			9,170
病床数の必要量【オリジナル】	2025	1,436	4,044				3,577	2,421			11,478

● 病床機能報告 (2019年度) と病床数の必要量 (2025年) の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等
				重症急性期	急性期(不明)	地域急性期			
病床機能報告	2018	19.5%		36.2%	0.0%	8.9%	11.5%	23.1%	0.8%
病床機能報告	2019	19.3%		37.2%	0.0%	7.4%	12.0%	23.3%	0.8%
病床数の必要量	2025	12.5%	35.2%				31.2%	21.1%	



サブアキュート・ポスト・アキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測

① 病床機能報告 (地域急性期 + 回復期)

2018年度	20.4%
2019年度	19.4%

② 病床数の必要量 (回復期)

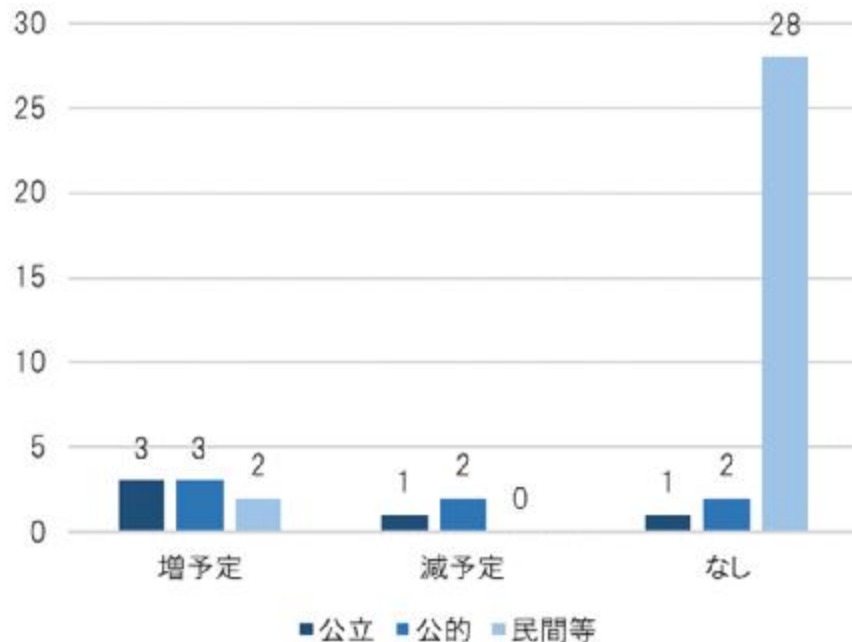
31.2%

割合の差
11.7%
(約1,100床)

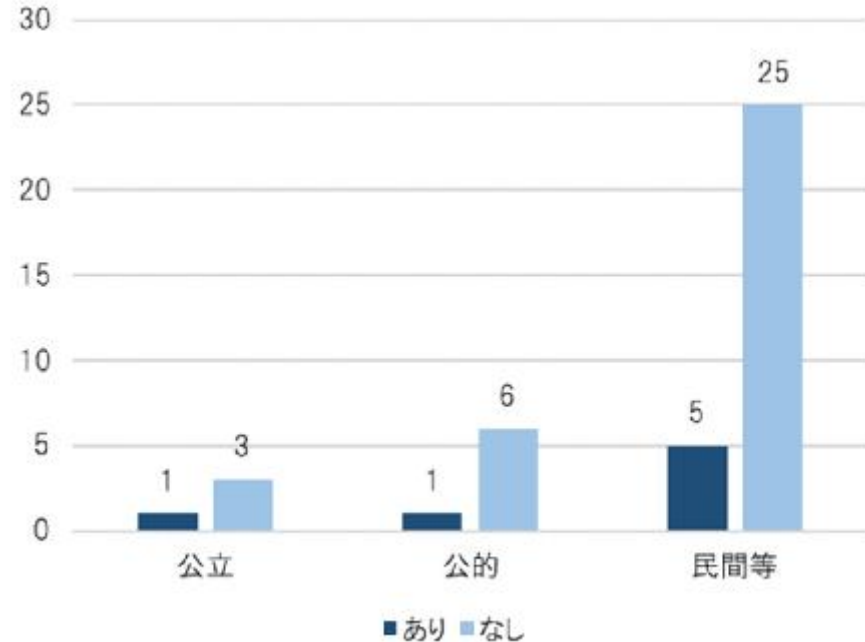
2 将来のあるべき医療体制に向けて (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

17%の医療機関が2025年に向け建物の建て替え等を予定している。

● 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建て替えの検討の有無



参照 2020年度病院プラン調査等

2 将来のあるべき医療体制に向けて

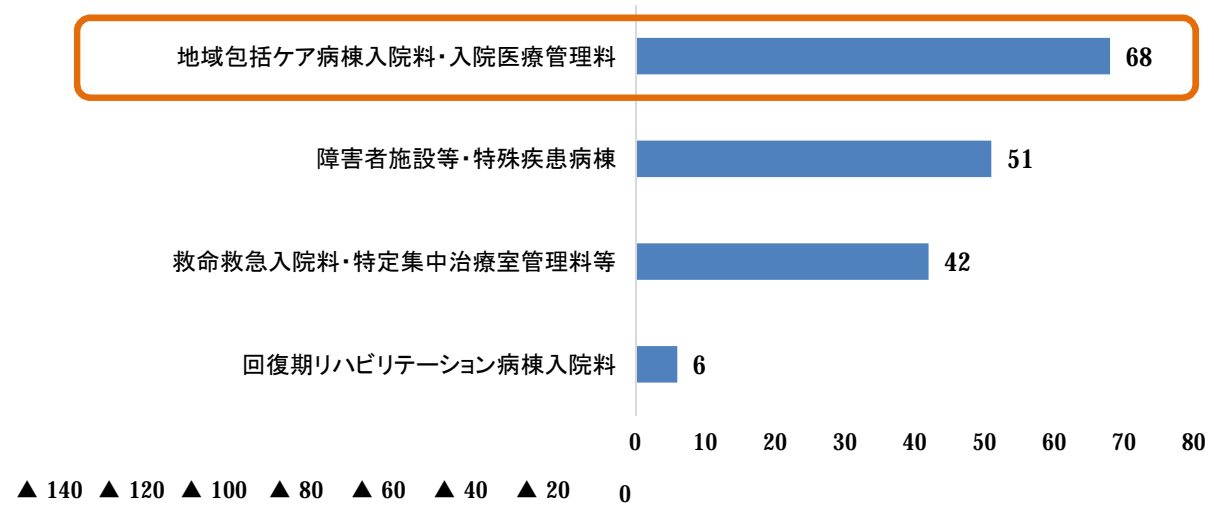
(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

高度急性期・回復期・慢性期は増え、入院料別では、地域包括ケア病棟、障害者施設等・特殊疾患病棟、救命救急入院料・特定集中治療室管理料は増える方向となっている。

●入院料別の検討状況※

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出



●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	7	▲ 7	0	0	0
公的	52	1	0	0	53
民間等	6	▲ 19	67	43	97
計	65	▲ 25	67	43	150

参照 2020年度病院プラン調査等

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

●【参考】保健所管内別病床機能の検討状況※

病床機能別増減表(豊能:池田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	4	▲4	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	37	20	0	57
計	4	33	20	0	57

病床機能別増減表(豊能:豊中市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	3	▲3	0	0	0
公的	21	▲21	0	0	0
民間等	0	▲50	▲10	60	0
計	24	▲74	▲10	60	0

病床機能別増減表(豊能:吹田市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	31	22	0	0	53
民間等	6	▲46	57	▲17	0
計	37	▲24	57	▲17	53

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別(病床機能別)病床数総計から各病院の現在の入院料別(病床機能別)病床数の総計を差し引いて算出)

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

大阪市立弘済院附属病院は、大阪市立大学医学部附属病院、総合医療センターと2025年に再編し、大阪市医療圏に新病院を開設予定

●豊能・大阪市医療圏

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
都島区	大阪市立総合医療センター	807	168	0	0	0	975
阿倍野区	大阪市立大学医学部附属病院	927	0	0	0	0	927
吹田市	大阪市立弘済院附属病院	0	90	0	0	0	90
計		1734	258	0	0	0	1992

※一般病床のみ

再編後(2025年度)

再編統合予定時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
2025年度	大阪市立総合医療センター	782	168	0	0	950
	大阪市立大学医学部附属病院	921	0	0	0	921
	大阪市立弘済院附属病院(廃止)	0	0	0	0	0
	新病院	0	120	0	0	120
計		1703	288	0	0	1991
増 減		▲31	30	0	0	▲1

※当プラン案については、市保健医療連絡協議会にて、継続審議

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(2) 2025年に向け各病院が検討している病床機能のまとめ

- 将来に向けて地域包括ケア病棟への転換数は増加する見込みである。
- 公立・公的病院に、救命救急入院料・特定集中治療室管理料等の高度急性期機能への転換を検討している医療機関がある。